

学校紹介

山口県立徳山商工高等学校 前PTA会長 河村聡子



緑と光に 包まれた環境

本校は、昭和24年に徳山工業高校と徳山市立高校商業科が統合して県立徳山商工高校として統合された後に、昭和42年に徳山工業高校と徳山商業高校に分離し、その後平成16年に再び徳山商工高校に統合されるとい

う歴史を持っています。現在は、旧徳山工業高校の敷地に商業棟が新設され、「新生」徳山商工高校として発足して13年目を迎えています。

情報ビジネス科の2科を、工業科として機械科、電子情報技術科、環境システム科の3科を有し、それぞれ各40名、1学年200名、全校で600名の生徒が在籍し、事務職員も合わせると全教職員数は80名近くになります。環境システム科は2年次に環境土木コースと工業化学コースに希望で分かれます。最近は、工業科に女子生徒が増えているのも特徴です。1年次は各8名ずつ計40名の五クラスから成る「ミックスホームルーム」を実施し、学科の枠を超えた交流を図っています。その成果もあつてか学科や性別に関わらず生徒の仲が良いのが特徴となっています。

学校の周辺には高校野球も実施される津田恒美メモリアムスタジアムや陸上競技場、キリンビバレッジ体育館、周南緑地公園などの施設があり、周陽小学校と周陽中学校も隣接しています。緑と光に包まれ、美しく静かな環境に囲まれています。その落ち着いた環境の中で、生徒は勉強にも部活動にも意欲的に取り組んで力を発揮しています。

新生から10年を経て 充実期に

「学校のチャレンジ目標」として、3C（頭文字Cで始まる3つの言葉）の精神を掲げ、チャレンジ（挑戦する）、チェンジ（変化する）、クリエイティブ（創造する）を繰り返して強調する中で、学校全体が充

実期に入っていることを感じさせます。

部活動では、「0.9秒の奇跡」で全国版のテレビ放送でも報道され有名になった女子バスケットボール部が、4年連続で全国高校総体への出場大会を果たしています。また、女子バレーボール部は、誠英高校の30年連続全国高校総体出場を阻んだの優勝をこのたび決めて、山口県高校総体予選のトップニュースになりました。本校体育館フロアは、男女バスケットボール部、男女バドミントン部、男女ハンドボール部、バレーボール部と七部も使用する部があり、交替制で使用せざるを得ない状況です。体育館を使えないときは、学校の正門を出て正面にある周陽公園に向かい、ストレッチや筋トレ、ランニングをして時間を有効に使っています。団体運動部においては、私立高校に伝統強豪校が多く、それを制しての公立高校の優勝という快挙に驚きの声がよく寄



せられます。その他、女子ソフトテニス部が個人戦での全国高校総体出場を勝ち取り、男子ハンドボール部も中国大会出場を重ね全国大会出場も射程に入れています。また、文化部の活動も盛んで、トータルビジネス部や囲碁部が全国大会にたびたび出場しています。昨年度、ワープロ部、ものづくり部も中国大会に出場し、吹奏楽部も金賞の常連となっています。

また、中高連携の取り組みは県内でも優れた取り組みだと注目を集めています。周南市・下松市・光市の中学校への出前授業は中学生の進路学習の貴重な情報となっていると喜ばれていると聞いています。また、最近では連携を小学校にも広げ、隣接する周陽小学校でも土木の実験や化学の実験の出前授業を行い、小学生からたくさんの方の感謝の手紙をもらいました。3学期の2月には、周陽中学校の1学年全員を招いての中高合同課題研究成果発表会も成功させています。徳山商工高校に親しみを感じてもらおう、このような取り組みの積み重ねを経て、本校を志願する中学生が年々着実に増えるという、嬉しい状況も生まれています。



信頼されるPTA活動を 目指して

PTAの活動指針としては、「強制されるのではなく、無理をしないで楽しくやろう」ということと、「少数者の声も大切にしよう」を常に心がけています。そうして、本部役員は、保護者の皆さんから信頼される活動でありたいと願っています。

本校PTAでは、規約で各クラス2名計30名のクラス役員を選出し、その中から8名程度の本部役員を決めることとなっていますが、前年度クラス役員をされた方が、年度当初のクラス役員会で、「前の年に楽しかったから、また引き受けました。」と言ってくださる方が少なくありません。こうした方が少ないので、かなり賑やかに気持ちよく活動できていると自負しています。会長が、県内でもまだ数少ない女性の高校PTA会長ということもあって、皆さんが進んでお力添えをしてくださっているよ



うにも感じていきます。大変ありがたいことで、いつも感謝の気持ちを忘れないようにしなければと自分に言い聞かせています。

PTA交流の場を 盛り上げて

PTAが主体で取り組む大きな行事としては、「企業見学研修会」と「商工祭PTAバザー」があげられます。前者は10月の中旬の2学期中間考査中に、日帰りのバス旅行ができる程度の場所に、工場見学と商業施設見学にでかけるというもので、大型バスが満員になるほどの参加になります。昨年度は、美味しいクリームパンで有名な、広島の八天堂の製造過程を直に見ることができ、その製造へのプロとしてのこだわりも聞かせて頂きました。そして、すぐそばにあるレストランでプチ贅沢なランチも楽しめました。商業施設見学では、新しくできた大型アウトレットモールに行き、膨大な広さの駐車場を始め、その店舗の種類之多さと規模の大きさに感嘆の声をあげながら、皆でショッピングを堪能しました。

後者は、11月中旬の土曜日に一般公開で行われる「商工祭」という文化祭において、PTAが昼食時に食事の場を提供するというものです。30名のクラス役員の方以外にも参加を呼びかけ、50名近い人数の協力を得て実施されます。



翌年の運転資金が確保でき、採算が取れば良いとの考えで、ちよつと贅沢な食材も使って美味しいと言ってもらえるものを提供するようになっています。販売するものの一つは、「周南ラーメン」で、これは本校生徒が業者とタイアップして商品開発したもので、麺と出汁に特別な工夫がしてあり、リピーターの方が多く訪れます。もう一つは、スペイン風海鮮焼きめし「パエリア」で、大きな鍋でエビやイカなどを贅沢に使って作り上げます。当日は、本物のシェフが来校してくださり、目の前で調理を指導してくださるので、参加者は感激して大いに盛り上がります。三つ目は、「寿屋珈琲」です。「寿屋」徳山本舗使用のコーヒーメーカーを実際に借りてきて、お店で飲む本格コーヒーを味わって頂きます。昨年度は、学校行事の調整の都合で商工祭が12月初旬の寒い時期に行われたので、飛ぶように売れました。コーヒー販売の場では合わせて、「リサイクルバザー」も行っており、掘り出し物を求めて、遠方から来られる人もいます。こうして、前日の準備から片付けまで嵐のような

時間を過ごしたら、夜は任意参加での打ち上げを駅近くの居酒屋で行い、遅くまで盛り上がります。

「子どものより良い成長」を 軸に据えて

本校では、専門高校では珍しく、早くからエアコンを設置していました。これも、PTAの取り組みで成立したものです。昨年からの夏の冷房だけでなく、冬の暖房もエアコンでまかなうことに決めて、生徒の学ぶ環境がより良いものとなるようにしています。これらのことは、2ヶ月に1回ぐらいのペースで行われる本部役員会で、校長先生、教頭先生、事務長先生、総務部のPTA担当の先生方とお互いに率直に話し合える伝統ができあがっていることによるもの大きいと思っています。子どものより良い成長を軸に据えて、お互いの立場を尊重しながら話し合って練り上げてゆけば良い知恵も生まれ、成果もあがってゆくということを実感できる良い経験をさせて頂きました。また、この度徳山商工で会長職を含め5年間並びに県高P連副会長として2年間、学校行事や県高P連の大会運営に携わる中で、徳山商工高等学校が第69回全国大会で団体表彰を受賞し、個人としても全国表彰を受賞いたしましたことにも深く感謝申し上げます。この紙面を借りてお礼を述べさせていただきます。ありがとうございました。